

第 6 次小牧市総合計画 新基本計画(案)

市長戦略編

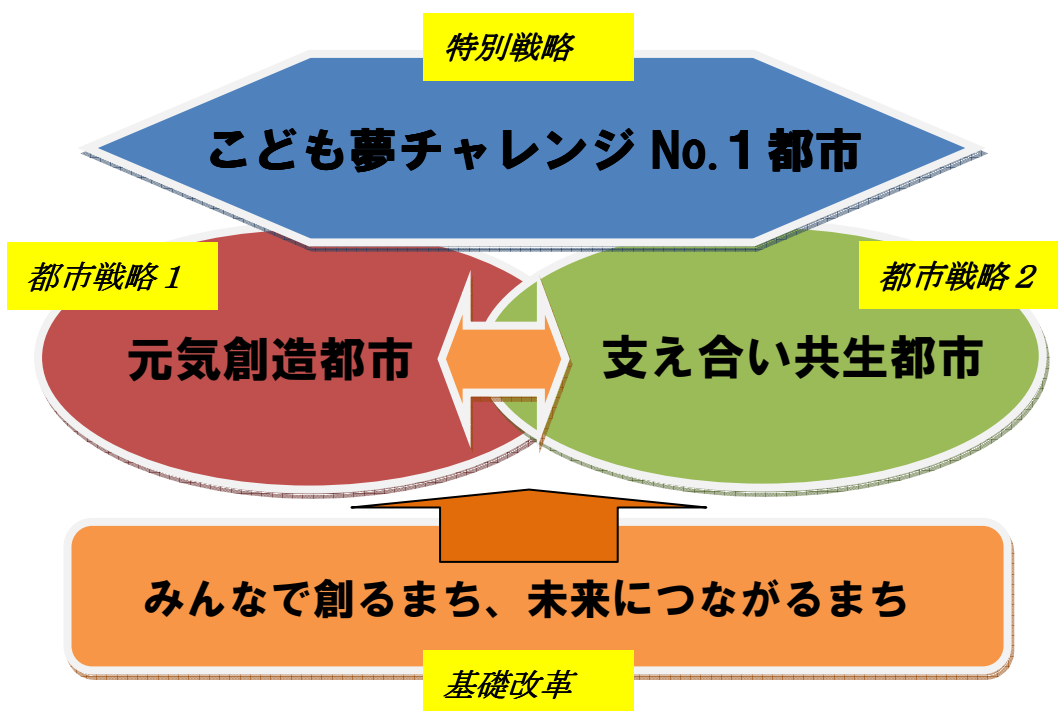
『こまき市政戦略ビジョン』(案)

1、こまき市政戦略ビジョンの位置づけ

こまき市政戦略ビジョンは、第 6 次小牧市総合計画 新基本計画において、長期的展望に立ち、市として何に機軸におき、何を優先してまちづくりを進めていくのか、その基本となる考え方を示し、今後のまちづくりの指針とするものです。

こまき市政戦略ビジョンは、二つの「都市戦略」と一つの「特別戦略」、それらの実現の土台となる「基礎改革」の四つのパートから成り、それぞれに実現の方向性を示す「ビジョン」を描いています。

また、市長戦略編の中では、それぞれのビジョン毎にその実現を図るための重点施策・重点事業が「戦略」として連なる構成となっています。



2、都市戦略ヴィジョン

小牧市の将来都市像を実現するため、次の二つの都市戦略ヴィジョンを掲げます。

→都市戦略ヴィジョン1

『元気創造都市』 ～都市の魅力と活力を創造するイノベーション～

『元気創造都市』とは、市が市民の元気づくりを応援し、逆に市民の力で創り出された無数の「元気の源」がつながり合わさって「まちの元気」になること、すなわち「市民の元気」と「まちの元気」が相互に活性化し合いながら、さらに大きな元気へと育っていくことをイメージした小牧市オリジナルの都市概念です。

具体的には、バランスの良い産業集積を今後も持続的に高めるとともに、地域経済を支援し、経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。また、都市の魅力を高め、にぎわいを創出するとともに、市民の健康・生きがいづくりを応援します。

市民が様々な場面で主体的に活躍できる環境づくりを進め、市民活動や地域自治の充実拡大を通じて、市民の創意工夫によって生み出された元気がつながり合わさって小牧全体の元気につながっていくまち『元気創造都市』を目指します。

(重点施策) ①産業 ②魅力・交流 ③交通 ④健康 ⑤ノーマライゼーション

→都市戦略ヴィジョン2

『支え合い共生都市』 ～安全・安心な暮らしを支える地域力の創造～

『支え合い共生都市』とは、同じまちで同じ時代を共に生きる市民同士がお互いに協力し合い、支え合い助け合って、安全で安心なまちをつくっていこうという都市概念です。

言うまでもなく、安全で安心なまちをつくることは市民全ての願いです。しかしながら、これを実現することは決して行政のみの力で成し得るものではありません。家庭・企業・地域など多くの市民の努力と協力があってこそ成し得るものです。

そこで、市民の力を合わせて、災害に強い、犯罪の起こりにくい、安全な地域づくりを進めます。また、年々高齢化する地域にあって、歳をとっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、在宅医療体制等を充実するとともに、地域における高齢者等の見守りを強化します。

市民と行政の力を合わせて地域の課題を克服していく地域自治の充実を通じて、地域の支え合い助け合い活動を推進し、市民の優しさがあふれる温かいまち『支え合い共生都市』を目指します

(重点施策) ①防災・防犯 ②医療・介護 ③支え合い・助け合い

＜都市戦略ビジョン1と都市戦略ビジョン2の関係について＞

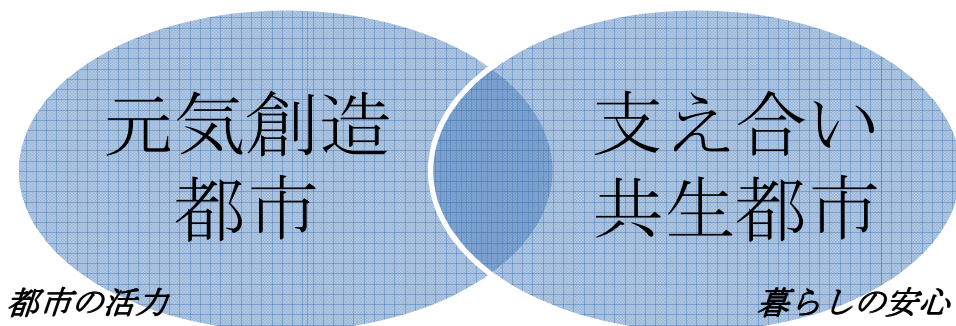
『元気創造都市』と『支え合い共生都市』という二つの都市戦略ビジョンは、互いに独立したものではなく表裏一体の概念であり、相互に作用し合う相関関係となっており、同時に達成すべき戦略ビジョンです。

都市戦略ビジョン1

『元気創造都市』＝元気なまち小牧

都市戦略ビジョン2

『支え合い共生都市』＝優しいまち小牧



「都市の活力」と「暮らしの安心」

まちづくりを進める上では、第一に「都市の活力」が必要であり、第二に「暮らしの安心」が必要です。しかし、「暮らしの安心」は「都市の活力」なしには実現できません。

「都市の活力」とは、地域経済であり、市の財政力であり、地域を動かす市民のパワー等です。「都市の活力」があつてこそ、「暮らしの安心」を支える地域福祉の充実や市民の様々な助け合い活動が実現できます。さらに、「暮らしの安心」を支える諸活動は地域力となり、再び「都市の活力」につながっていきます。

小牧市は、都市の活力＝『地域経済』と、暮らしの安心＝『地域福祉』を都市運営の両輪として、双方がともに充実し、市内ですす循環するまちを目指します。

わたしの元気が、まちの元気になる_____

あなたの優しさが、誰かの支えになる_____

都市の活力は、躍動する市民一人ひとりの“元気”から生まれ、暮らしの安心は、地域で支え合い助け合う市民一人ひとりの“優しさ”から生まれます。

小牧市は、市民一人ひとりの「元気」と「優しさ」が強く大きく育ち、全市民に広がりつながる取組みを通じて、まちの「元気」と「優しさ」を育てていきたいと思ひます。

3、シティプロモーションと地域ブランド戦略

まちづくりにおいては、都市のイメージというものも重要な要素です。

まちに対する市民の満足度は、産業や福祉の充実度といった市民の実益に直結する事柄のみでなく、歴史や文化、自然といった要素を含めて「自分の住むまちを好きと感じるか」というような、精神的・観念的な面にも大きく影響されると考えられます。

そこで、様々な側面から都市の魅力を高め、市民が小牧市への愛着や誇りを強く感じられるようにすることは、まちづくりの指針として極めて重要な命題です。

平成 25 年は織田信長公による小牧山城築城 450 年を記念して様々な事業を展開し、小牧市の歴史や文化、魅力を市内外に発信する大きな機会とすることができました。こうしたことの積み重ねによって、市内外からの小牧市に対する認識を深めイメージを向上することが、市民の愛着や誇りの醸成につながっていくものと確信します。そのため、今後も市内の地域資産を活かしたシティプロモーションを積極的に推し進めていきます。

しかし、そこには確かな地域ブランド戦略が必要です。そこで、小牧市の地域資産の認識や市のイメージを調べる調査等を行った結果、最も活用できる地域資産として、**小牧山**と、**子育てしやすい街**の二つの柱が浮かび上がりました。

本市は小牧山が信長公の天下統一への第一歩の地であることから、小牧山城築城 450 年記念事業のテーマ“**夢・チャレンジ 始まりの地**”を今後も市の「ブランドコンセプト」として、先の二つの資産を柱とした地域ブランド戦略を強力に展開していきます。

→特別戦略ビジョン

『こども夢チャレンジ No.1 都市』 ～夢・チャレンジ 始まりの地 小牧～

小牧山は小牧市民のシンボルであり、「**近世城郭のルーツ 信長公が初めて築いた石の城 小牧山城**」をこれからもシティプロモーションの中核に据えます。

さらに築城 450 年記念事業の成果を活かし、これを一過性のものに終わらせることなく継承して、今後も「小牧山」を核としたまちづくりを展開していきます。

一方、本市は「子育てしやすい街」との市民の認識が高いことから、このことを本市の特長としてさらに伸ばし差別化を図り、確固たるブランドイメージを築いていきます。

そこで、小牧市は信長公の天下統一への第一歩 “夢・チャレンジ 始まりの地”として、『こども夢チャレンジ No.1 都市』を戦略ビジョンに掲げ、「**こどもの夢をはぐくみ、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち**」を目指します。

子育てを支援する取組みを通じて“**こどもを中心に全ての世代がつながっている**”まちをつくるのが、全ての世代が暮らしやすい温かいまちづくりにつながっていきます。

(重点施策) ①夢チャレンジ支援 ②国際異文化交流 ③子育て支援 No.1

4、都市自治の新しい挑戦

→基礎改革ビジョン

『みんなで創るまち、未来へつなぐまち』

世界史上かつてない急激なスピードで高齢化と人口減少が同時進行する我が国においては、模倣すべき先行モデルがなくなった今日の状況の中で、分権型社会の構築が急務であるとの基本認識の下、小牧市においては、国や県の動きを待つことなく、時代の先を見据えた新しいモデルの創造に果敢に挑戦する「改革と創造」の市政を実行するとともに、市民が様々な場面で主体的に活躍できる環境づくりを進めることで、地域の課題解決に多くの市民の知恵や創意工夫が発揮され、新たな挑戦が活発に行われ、それぞれの地域で特色ある地域運営がなされる、創意と活力に富む都市自治の創造を目指します。

一方、高齢化と財政の硬直化が進む今日、多様化する市民ニーズに的確に応えることは、もはや行政の力だけでは難しい状況になりつつあります。そこで、市民みんなで創る小牧を目指して「自治基本条例」を制定し、市民と行政の協働を推進するとともに、市民団体や自治会、地域協議会等による地域の課題解決活動や市民の支え合い助け合い活動によって、高齢化する中であっても地域の安全・安心がしっかりと守られる、持続可能な温かい地域社会づくりを進めます。

また、わかりやすく信頼される行政を目指し、行政手続きの簡素化・迅速化や、選択と集中による行政改革を進める一方、マイナンバーカードの活用による行政サービスの利便化など、必要な行政サービスの向上を図ります。タウンミーティングや市民討議会の開催、ICT を活用した市政情報の発信などを通じて、市民と行政が市の課題を共有し、一緒に地域づくりを進める仕組みを強化します。

さらに、時代のニーズにあった施策の選択、継続的な事業の改善と経営資源の最適配分を可能にする行政経営システムの構築に努めるとともに、長期的展望に立って公共施設のファシリティマネジメントを強化し、人口減少社会を見据えた、効果的・効率的で持続性が高い自治体経営を推進します。

(重点施策) ①みんなで創る小牧 ②わかりやすく信頼される行政 ③未来へ持続する地域